

SKK
SERVICE GUIDANCE

個人被ばく線量測定サービス

安心、迅速、丁寧。永年の実績と経験に基づく
SKKの個人被ばく線量測定サービス。



- SKKフィルムバッジ ●
- TLDバッジ/TLD指リング ●

SANGYO KAGAKU CO., LTD.

放射線取り扱い事務所の被ばく管理

SKKフィルムバッジ

産業科学のフィルムバッジは永年に亘り、「SKKフィルムバッジ」として病院や研究所、検査施設などで活躍する多くの放射線業務従事の方々にご利用いただいております。

放射線業務は、外部による線量当量の測定および記録が義務づけられておりますが、「SKKフィルムバッジ」による測定は、測定範囲が極めて広く、異なった放射線が混在する場合でも分離測定が可能です。また、評価を行う際も大変簡単で便利な測定器です。



特徴

● 永年の経験と実績

個人線量計として一番信頼性の高い測定器具です。

● 軽量・コンパクト・簡単

従来に比べさらに小さく、軽くなっています。使用方法が簡単です。また、衝撃に強く耐久性に優れています。

● 正確な測定評価

x線、γ線、β線、熱中性子線の混在場所においても、それぞれの線種を分離して線量当量を評価します。また、入射エネルギーや入射方向についての情報も得られます。

● 信頼の技術と研究・高い測定精度

各人の被ばく線量判定にあたって、最も重要なバックアップデータは、標準照射したフィルムに基づいて作成しています。また、定期的に標準照射を行い、正確を期しております。(個人線量測定機関協議会および(財)放射線計測協会にて、高い技術レベルの維持向上に努めています。)

● データの再現性

現像されたフィルムは、そのまま視認可能な記録となります。そのため必要に応じ、繰り返し確認することができます。(万一の事故等の労災認定にもお役に立ちます。)

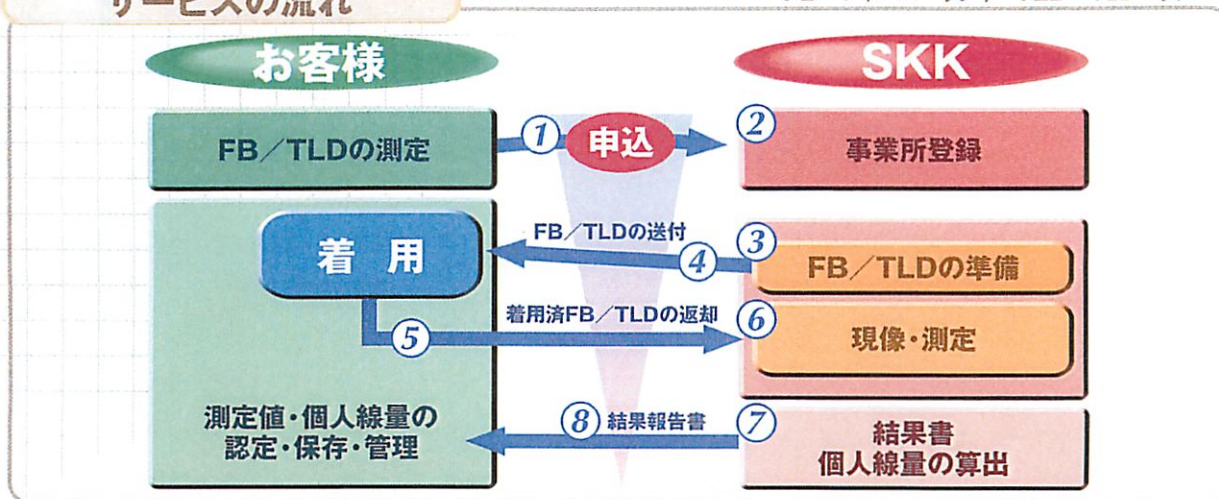
● 行き届いたサービス

着用済みフィルムは、到着次第現像測定し、ただちにご報告すると共に、データは定期弊社で保管します。弊社では、適正な価格で正確・迅速・親切をモットーに、行き届いたサービスを心掛けております。
※通常値より高い線量が測定された場合は、電話にてご連絡いたします。

型番	SK-708D
構成	コダックモニタリングフィルム TYPE2/バッジケース
寸法	ケースサイズ W35mm×H49mm×D10mm
測定線種	x線、γ線、β線、熱中性子線
測定範囲	0.1mSv～60mSv
測定回数	月2回/月1回

サービスの流れ

FB = フィルムバッジ / TLD = TLD バッジ



結果報告

返送されたフィルムバッジ/TLDバッジ等は、速やかに測定し、測定値、実効線量、等価線量の算定結果を測定結果報告書としてお知らせ致します。(法令に準拠しております。)

氏名		職種	勤務先	測定日	測定場所	年度線量(ブロック5年)										測定値(mSv)			
氏名	個人番号	氏名	個人番号	氏名	個人番号	今年	今年	今年	今年	今年	今年	今年	今年	今年	今年	今年	今年	今年	今年
氏名	個人番号	氏名	個人番号	氏名	個人番号	今年	今年	今年	今年	今年	今年	今年	今年	今年	今年	今年	今年	今年	今年
氏名	個人番号	氏名	個人番号	氏名	個人番号	今年	今年	今年	今年	今年	今年	今年	今年	今年	今年	今年	今年	今年	今年

※横線レイアウトは、予告なく変更する場合があります。

フィルムバッジとTLDバッジの比較

項目	フィルムバッジ	TLDバッジ	
一般比較	測定原理	一定条件下で現像したフィルムの黒化度が照射線量に比例し、黒化度との間に相関関係があることを利用して、黒化度を測ることにより照射線量を測定する。	放射線に照射された蛍光物質が熱刺激を受けると、照射線量に比例した発光することを利用し、加熱による発光量を測ることにより照射線量を測定する。
	特徴	<ul style="list-style-type: none"> フィルムは被ばくの資料として保存ができ、再測定も可能。 線質を知ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発光体として組織等価物質が選べる。 広い線量範囲で使用でき、素子は繰返し測定できる。 線量率依存性が少なく、退行現象が少ない。 測定操作が簡単。 着用期間は3ヶ月でも可。 人為的誤差が入らない。
性能比較	有効測定範囲	0.1~10 ³ mSv	Li ₂ B ₄ O ₇ 0.05~10 ⁴ mSv LiF 0.05~10 ⁴ mSv
	検出限界	0.1mSv±0.05mSv	0.05mSv±0.01mSv
	エネルギー特性	低エネルギー領域においては、エネルギー依存性が大きいので数10%以上の補正が必要である。	低エネルギー領域においても、 ⁶⁰ Coγ線に対して相対感度1.2以下。
	潜像退行	30日で数%	90日で数%
	方向依存性	γ(x)線位に対し±90°で-50%	γ(x)線位に対し±90°で-25%
	機械的強度	衝撃に強い。	着用中の落下の衝撃には耐える。
	線量直線性	0.1~2mSvの範囲で±20~±50%の偏差。	0.05~10mSvで直線性。



産業科学株式会社
SANGYO KAGAKU CO., LTD.

本社 〒103-0004 東京都中央区東日本橋2丁目6番11号
計測部 〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目9番6号

TEL. 03 (5825) 7117 (代) FAX. 03 (5825) 7118
TEL. 03 (3545) 5256 (直) FAX. 03 (3545) 5259